

## ★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会 (EMM)

専門委員長 岩村恵市 副委員長 栗林 稔・小嶋徹也

幹事 姜 玄浩・村田晴美 幹事補佐 秋山寛子・金田北洋

◎本研究会は参加費が必要になります。

ISS の技報完全電子化研究会に関する御案内ページ

[https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e\\_gihou.html](https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e_gihou.html)

日時 1月10日(木) 11:00~18:15

11日(金) 9:30~12:15

会場 東北大学電気通信研究所(仙台市青葉区片平2-1-1. JR仙台駅より徒歩約20分. <http://www.riec.tohoku.ac.jp/> 坂本修一)

議題 臨場感生成, ユニバーサルメディア, デジタルエンタテインメント, 一般

10日午前

1. 鉄棒競技の触覚・視覚提示による体験システムの提案 ○和藤哲史・今村 孝(新潟大)
2. システムトレードにおけるパラメータ検討のためのビジュアライゼーション ○須藤健次・青木直史(北大)

10日午後

3. 超臨場感音響デモセッション 安藤彰男(富山大)
4. [招待講演] 情報の質と富化について—将来の高精細空間音響システムを見据えて— 鈴木陽一(東北大)

11日

1. Study on audio information hiding using linear-time variant IIR filter based on cochlear delay characteristics  
○Candy Olivia Mawalim・Masashi Unoki (JAIST)
2. Study on Digital Audio Watermarking Method Based on Singular Spectrum Analysis with Automatic Parameter Estimation Using a Convolutional Neural Network ○Kasorn Galajit (JAIST)・Jessada Karnjana (NECTEC)・Pakinee Aimmanee (Thammasat Univ.)・Masashi Unoki (JAIST)
3. インタラクティブ音声合成システム「Voice Pad」の開発 ○青木直史・藍 圭介(北大)
4. スペクトル拡散技術を用いた多重 Zero-Watermarking 法の提案 ○島名祐樹・川村正樹(山口大)
5. ヒストグラムの最頻値を用いた埋め込み領域の回転角推定 ○林 誠人・川村正樹(山口大)
6. Optimal Error Correcting Decoder with Self-Synchronization Capability  
○Minoru Kuribayashi・Nobuo Funabiki (Okayama Univ.)

◆URCF 音響分科会共催

☆EMM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月13日(水), 14日(木) 沖縄県青年会館〔未定〕テーマ:画質・音質評価, 知覚・認知メトリクス, 人間視聴覚システム, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<https://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>